

第14表 社会福祉施設数、収容者数 (各年度末現在による)

本表は生活保護法、児童福祉法等によるものである。
(注) 収容人員とは定員である。母子寮については世帯で掲載した。

施設名	昭和48年度						昭和49年度					
	施設数			収容人員			施設数			収容人員		
	総数	公立	民間立	総数	公立	民間立	総数	公立	民間立	総数	公立	民間立
総数	1 068	649	419	86 480	50 766	35 714	1 155	699	456	95 738	56 379	39 359
				462世帯	330世帯	132世帯				462世帯	330世帯	132世帯
救護施設	9	5	4	705	440	265	9	5	4	835	440	395
更生施設	5	3	2	740	440	300	5	3	2	710	440	270
医療保護施設	11	1	10	2 469	200	2 269	11	1	10	2 317	200	2 117
宿所提供施設	1	1	-	150	150	-	1	1	-	150	150	-
助産施設	63	24	39	326	93	233	67	24	43	349	223	126
乳母子院	7	1	6	352	70	282	7	1	6	352	70	282
保育所	19	14	5	462	330	132	18	13	5	462	330	132
児童厚生施設	688	427	261	69 351	42 815	26 536	758	467	291	78 177	48 027	30 150
養護施設	76	65	11	-	-	-	81	70	11	-	-	-
	37	6	31	3 047	450	2 597	37	6	31	3 087	470	2 617
精神薄弱児施設	13	6	7	806	450	356	13	6	7	806	450	356
精神薄弱児通園施設	11	9	2	510	410	100	12	10	2	570	470	100
盲ろうあ児施設	2	-	2	90	-	90	2	-	2	90	-	90
盲ろうあ児施設	1	-	1	70	-	70	1	-	1	70	-	70
肢体不自由児施設	3	2	1	360	260	100	3	2	1	360	260	100
肢体不自由児通園施設	10	8	2	440	340	100	10	8	2	440	340	100
肢体不自由児養護施設	1	1	-	50	50	-	1	1	-	50	50	-
重症心身障害児施設	1	-	1	162	-	162	1	-	1	162	-	162
情緒障害児短期治療施設	1	1	-	50	50	-	1	1	-	50	50	-
教護院	2	2	-	374	374	-	2	2	-	374	374	-
母子福祉センター	2	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-
母子休養ホーム	1	-	1	115	-	115	1	-	1	115	-	115
精神薄弱者更生施設	9	6	3	702	610	92	10	7	3	722	630	92
精神薄弱者授産施設	5	5	-	400	400	-	6	6	-	430	430	-
養護老人ホーム	27	18	9	2 913	2 014	899	26	18	8	2 929	2 090	839
特別養護老人ホーム	9	2	7	915	400	515	11	2	9	1 045	400	645
軽費老人ホーム	11	4	7	658	255	403	13	4	9	823	320	503
老人福祉センター	27	27	-	-	-	-	30	30	-	-	-	-
肢体不自由者更生施設	1	1	-	40	40	-	1	1	-	40	40	-
重度身体障害者更生施設	1	1	-	60	60	-	1	1	-	60	60	-
失明者更生施設	1	-	1	50	-	50	1	-	1	50	-	50
内部障害者更生施設	1	-	1	80	-	80	1	-	1	80	-	80
身体障害者療護施設	1	-	1	50	-	50	1	-	1	50	-	50
身体障害者授産施設	2	2	-	90	90	-	2	2	-	90	90	-
重度身体障害者授産施設	2	1	1	100	50	50	2	1	1	100	50	50
補装具制作施設	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
点字図書館	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
出版施設	1	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
婦人保護施設	4	4	-	255	255	-	4	4	-	255	255	-

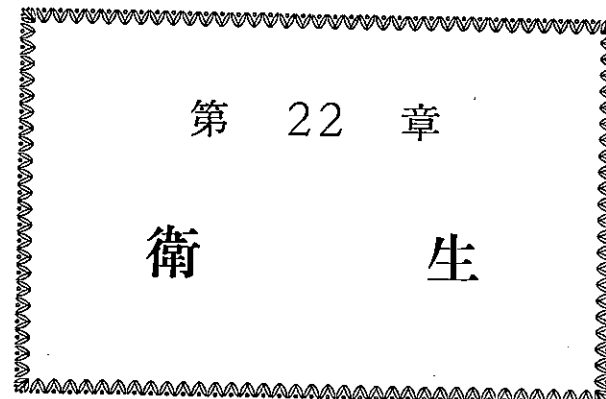
資料 大阪府民生部民生総務課「主要民生統計資料」

第15表 共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金、配分額には経費充当額・次年度運動準備金・繰越配分額が加えられていない。

募金区別	募 金 額				配 分 先 別	配 分 額			
	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度		昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度
総 額	166 666	174 661	190 415	241 402	総 額	147 561	152 122	164 774	209 230
戸別募金	108 565	116 520	138 084	154 233	社会福祉施設	30 595	31 509	30 016	52 331
法人募金	19 265	24 822	18 682	22 628	保育所託児所	15 523	5 092	5 796	6 836
学校職域募金	5 459	5 112	5 567	7 091	隣保館児童館遊園地	3 032	2 742	2 920	3 261
街頭募金	4 230	5 424	4 953	5 807	社会福祉事業団体	3 650	3 650	2 900	3 500
パッチ収益金	16 106	16 120	16 811	15 021	府市社会福祉協議会	6 676	6 676	5 007	8 346
その他	13 041	6 663	6 316	36 622	更生援護資金	4 780	4 780	5 530	5 180
目 標 額	144 000	150 000	180 000	200 000	地域社会福祉協議会	83 205	97 573	112 504	129 776
					らい患者慰安費	100	100	100	0

資料 社会福祉法人大阪府共同募金会



第 22 章

衛 生

第22章 衛生

病院、病床の概況

昭和49年末の府下の医療施設総数は9,246施設で、前年にくらべて245施設の増加である。また、種類別にみると、病院総数は454施設をかぞえ、そのうち一般病院が405施設(89.2%)で大半を占め、ついで精神病院41施設(9.0%)、結核療養所8施設となっている。なお、人口10万対病院数は5.5、一般病院で4.9、1施設あたりの人口は、病院総数で約1万8千人、一般病院で約2万人である。

一方、一般診療所総数は6,088施設で、前年にくらべて161施設(2.7%)の増加、人口10万対一般診療所数は74.4で、1診療所あたり人口は1,344人である。また、歯科診療所総数は2,704施設で前年にくらべて72施設(2.7%)の増加、人口10万対歯科診療所数は33.0施設で、1診療所あたり人口は3,027人である。

全施設の病床数は8万4,112床で、前年にくらべて2,280床(2.8%)の増加である。人口10万対の病床数は1,028で全病床数のうち、89.5%が病院、10.5%が一般診療所の病床である。また、施設の種類別に病床数をみると、一般診療所の病床を含めた一般病床が69.5%で最も多く、ついで精神病床が19.7%、結核病床が9.8%の割合を占めている。

在院患者数は年間延2,157万人で、1日平均5万9千人、これを人口10万対でみると722人で、府民139人のうちから1人の入院患者を出していることになる。これを病床の種類別にみると、精神病床608万人、結核病床223万人、伝染病床1万人、一般病床1,324万人で、一般病床を利用した患者が61.4%を占め、ついで精神病床28.2%、結核病床10.4%となっている。なお、新入院患者数は44万2千人、その1日平均では1,212人、外来患者延数は2,924万7千人で、1日あたり8万人となり、府民102人につき1人の割合で毎日病院外来で診療を受けていることになる。

医師等の数

昭和49年末の医師総数は9,979人で前年末にくらべて94人(1.0%)の増加となり、医師1人あたりの人口は820人(前年末819人)である。また人口10万対医師数は昭和33年の147.0を最高に低下の一途をたどり、昭和43年は最低の119.3となったが昭和49年末には121.9と少し上昇した。一方歯科医師数は3,178人で人口10万対医師数は38.8で前年の38.3にくらべてわずかに上回った。薬剤師数は8,305人で前年末より388人(4.9%)増加し、

人口10万対薬剤師数は101.5(前年98.1)となった。

死亡の概況

昭和49年中の本府の死亡数は4万1,676人、12分37秒に1人亡くなったことになる。人口千対の死亡率は5.1で全国(6.5)でも低い方である。

主要死因別の順位をみると、トップは悪性新生物、つぎに脳血管疾患、心疾患、不慮の事故、老衰と続き、昭和27年まで長くトップを占めていた結核は10位にまで下がっている。

また死亡率を府下市郡別にみると豊能郡7.6、泉南郡6.5、岸和田市6.3と高く、反対に門真市3.3、四条畷市3.4、交野市3.4と低率である。

伝染病患者の概況

昭和49年中の府下における伝染病発生届出総数は1万5千人で、10年前(昭和37年)の6分の1となった。その内訳をみると、法定伝染病215人、指定伝染病該当なし、届出伝染病933人、性病1,509人、結核1万2,646人、らい病3人となっている。

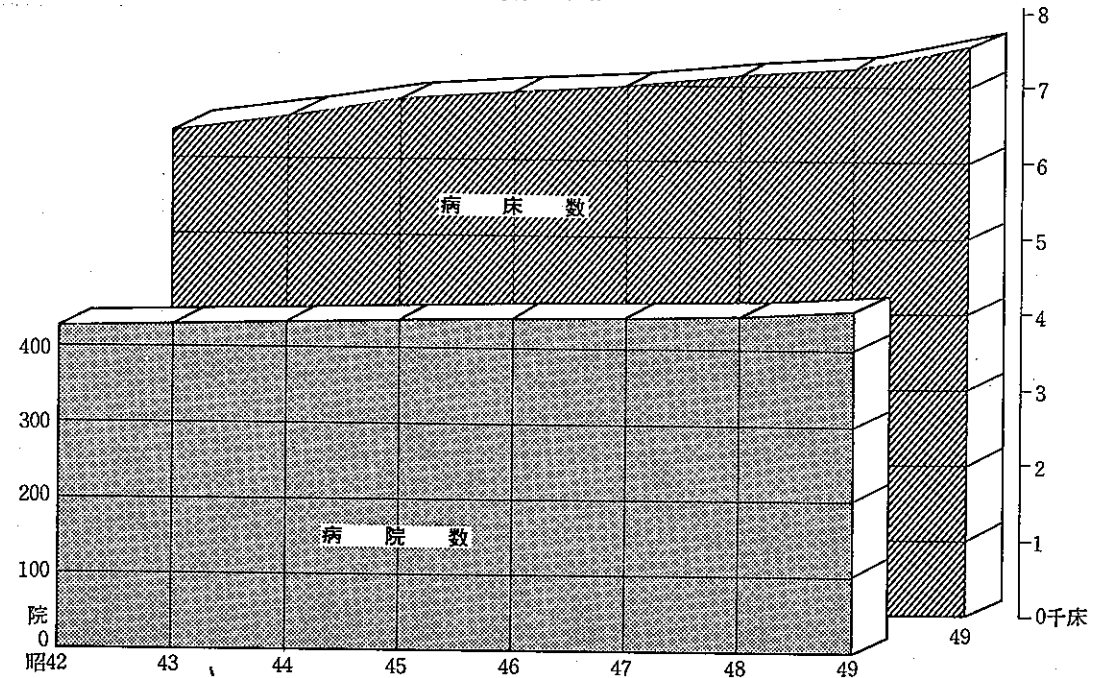
児童、生徒の体格

昭和49年度における府下の生徒、児童、幼児の体格について、男女とも13歳を例にとってみると、身長は男子156.2cm、女子153.3cm、体重は男子45.7kg、女子45.8kgで10年前にくらべて、身長は男子で3.3cm、女子で2.4cm、体重は男子2.9kg、女子2.8kgとそれぞれ伸びている。

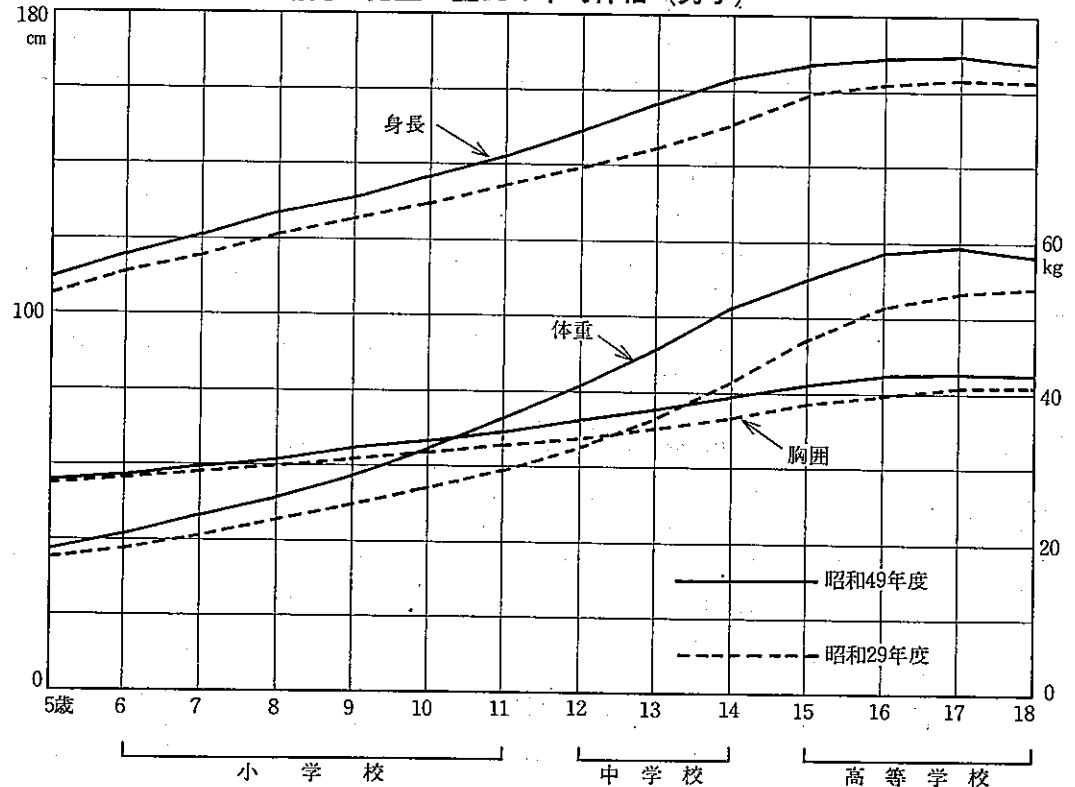
公害の概況

広域化、多様化の方向をたどる環境汚染に対し、本府では大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、地盤沈下、土壌汚染、産業廃棄物などの分野ごとに発生源の調査、監視、規制および公害防止に必要な公共施設の整備、公害防止施設に対する融資、補助さらには被害の救済に至るまで幅広い対策がとられている。なお、昭和49年度の本府および市町村に寄せられた公害苦情件数は6,868件で、そのうち騒音が全体の32.7%とトップ、つづいて大気汚染31.9%となっている。

病院・病床数の推移



幼児・児童・生徒の平均体格 (男子)



第1表 病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設を持つものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。各病床数には一般病院内のものも含まれている。各年末現在。

Table with columns for year, hospital type (General, Infectious, Tuberculosis, Mental, etc.), and bed counts.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるもので就業地主義をとっている。ただし獣医師数は居住地主義である。各年末現在。

Table with columns for year, profession (Physician, Dentist, etc.), and counts.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」、同農林部経営指導課

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦・看護士数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦、看護士数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも就業地主義によるものである。各年末現在。

Table with columns for year, profession (Pharmacist, Nurse, etc.), and counts.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、診療放射線技師、臨床衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者、衛生管理者数は「労働基準法」による免許証所有の医師でない専任者、栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したもの。乳業士数は「乳業の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種乙種の免許証所有者、調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者、あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。各年末現在。

Table with columns for year, profession (X-ray technician, Nutritionist, etc.), and counts.

資料 大阪府衛生部医療対策課、同環境保健課 同食品衛生課、同保健予防課、大阪労働基準局

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもの。病床利用率は各年の(6月末在院患者数/6月末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year, hospital type, inpatient numbers, and bed utilization rates.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計情報部「病院報告」

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれ1として計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year, hospital type, new inpatient numbers, and outpatient numbers.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計情報部「病院報告」

第7表 人工妊娠中絶件数

本表の数字は厚生保護法にもとづく医師の届出を集計したものである。

Table with columns for year, age group, and number of induced abortions.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省「人工妊娠中絶年報」

第8表 食品衛生関係営業施設数

本表の数字は大阪府内における許可を要する営業施設および要しない営業施設の数を表すが許可を要しない施設については概数である。各年末現在。

Table with columns for year, facility type (Restaurant, etc.), and counts.

資料 大阪府衛生部食品衛生課「厚生省報告例」

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況

本表のと畜場数、と畜検査頭数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year, number of farms, and various inspection counts for livestock and rabies prevention.

資料 大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部経営指導課、同食品流通課

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数

本表の数字は「厚生省報告例」によるもので各年末現在である。46年の客室総数には簡易宿泊施設は含まれていない。

Table with columns for year, types of facilities (lodging, public bath, etc.), and number of staff.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市環境保健局環境衛生課

第11表 環境衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、再生資源関係営業施設数は「大阪府再生資源営業取締条例」にもとづく許可施設数である。各年末現在。納骨堂の47年以前には大阪市を含まない。

Table with columns for year and various types of facilities like crematoriums, recycling, etc.

資料 大阪府衛生部環境衛生課「衛生年報」、大阪市環境保健局環境衛生課

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。結核登録患者数のみ大阪府分を含む。

Table with columns for year, number of patients, and details of health checkups.

資料 大阪府衛生部公衆衛生課

第13表 公衆衛生関係衛生検査件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year and various types of public health inspections.

資料 大阪府衛生部環境保健課

第14表 薬事関係業者数

本表欄頭の医薬品販売業のうち「一般」とはすべての医薬品について販売できる薬剤師の管理している業者、「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くものの取り扱いをする薬種商の資格のある業者、「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者、「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取り扱う資格を要しない業者

Table with columns for year, types of pharmaceutical businesses, and number of staff.

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計情報部「衛生行政業務報告」

第15表 供血者数および血液採取量

採血業者ならびに供血あつせん業者によるもの。なお、預血は昭和45年9月以降停止された。

Table with columns for year, number of donors, and blood collection volume.

資料 大阪府衛生部薬務課

第16表 麻薬中毒者数

本表はがんおよび結核末期のものを除いたものでいずれも年中の新規発見者の数である。

Table with columns for year, gender, and age groups of drug addicts.

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計情報部「衛生行政業務報告」

第17表 個別健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

本表は保健所運営報告によるもので、計数は各年中における保健所内および所外の合計である。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total staff (総人員), and categories for adults (成人病), mothers (母), children (子), and other care (療育その他). Rows list various health centers like 昭和45年度, 昭和46年度, etc.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」、大阪市環境保健局保健部保健管理課調

第18表 集団健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

前表項注参照。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total staff (総人員), and categories for adults (成人病), mothers (母), children (子), and other care (療育その他). Rows list various health centers like 昭和45年度, 昭和46年度, etc.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」、大阪市環境保健局保健部保健管理課調

第19表 スモッグ予報・注意報発令回数・時間数

大気汚染防止法第17条の発令基準によるものである。*印は重なった発令時間は加算していない。

Table showing smog forecasts and warning orders. Columns include year (年次), forecast order count (予報発令回数), warning order count (注意報発令回数), warning order time (注意報発令時間), and total order count (発令回数).

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第20表 地域別重油使用量

地域区分・大阪市地域：大阪市、泉北地域：堺市・高石市・泉大津市・和泉市・忠岡町、北大阪地域：池田市・箕面市・茨木市・高槻市・豊中市・吹田市・摂津市・能勢町・東能勢町・島本町、東大阪地域：枚方市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・四條畷市・交野市・東大阪市・八尾市・柏原市、南河内地域：松原市・藤井寺市・羽曳野市・富田林市・河内長野市・美原町・狭山町・太子町・河南町・千早赤阪村、泉南地域：岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・熊取町・田尻町・阪南町・岬町。

Table showing regional heavy oil usage. Columns include region (地域),昭和45年度,昭和46年度,昭和47年度,昭和48年度,昭和49年度, and composition ratio (構成比).

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第21表 地域別亜硫酸ガス排出量

前表項注参照のこと。重油(原油を含む)軽油・灯油、石炭、コークスおよびタールピッチ類を対象とした。

Table showing regional sulfur dioxide gas emissions. Columns include region (地域),昭和45年度,昭和46年度,昭和47年度,昭和48年度,昭和49年度, and composition ratio (構成比).

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第22表

降下ばいじん量

1平方キロメートル当りの量、デボジットゲージまたはダストジャーによる測定である。但し堺市については簡易ばいじんびんであるため測定位を2分の1に調整してある。

年次	大 阪 市					堺 市			豊中市	守口市	東大阪市	八尾市
	平均	西部地区	北部地区	中心部地区	南部地区	平均	西部地区	東部地区				
昭和45年度	12.33	18.16	9.53	8.03	6.92	10.86	12.02	7.47	6.03	7.53	8.88	13.07
46	10.85	14.69	8.48	7.80	9.10	8.82	10.18	6.60	6.09	6.60	7.83	10.23
47	8.76	13.40	9.32	4.87	5.84	7.67	8.72	5.84	4.80	5.74	6.58	8.42
48	8.95	13.24	5.64	6.48	6.96	6.36	7.34	4.65	4.57	5.01	6.02	7.28
昭和49年度	7.51	9.73	5.47	7.27	5.25	5.19	5.84	4.04	3.88	5.03	5.11	5.76

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第23表

一酸化炭素等有害物質濃度測定量

昭和45年7月までは青少年会館、昭和45年8月以降は府公害監視センターにおいて測定。

年 月	一酸化炭素		一酸化窒素		二酸化窒素		二酸化いおう	
	月平均	月最高	月平均	月最高	月平均	月最高	月平均	月最高
昭和49年 4月	1.4	7	0.025	0.28	0.045	0.11	0.032	0.11
5月	0.5	3	0.016	0.11	0.040	0.13	0.030	0.09
6	0.5	3	0.010	0.08	0.036	0.10	0.033	0.07
7	1.6	5	0.021	0.10	0.028	0.08	0.025	0.06
8	1.3	5	0.012	0.07	0.023	0.08	0.023	0.06
9	1.7	6	0.022	0.16	0.039	0.11	0.028	0.07
10	2.9	9	0.047	0.31	0.055	0.17	0.049	0.10
11	2.6	12	0.060	0.33	0.053	0.25	0.052	0.12
12	2.9	12	0.067	0.35	0.058	0.18	0.046	0.11
50年 1月	2.3	8	0.050	0.40	0.048	0.13	0.035	0.12
2	1.7	8	0.026	0.19	0.047	0.20	0.034	0.13
3	2.1	7	0.020	0.22	0.051	0.17	0.034	0.10

資料 大阪府公害監視センター「昭和49年度大気汚染常時測定点測定結果」

第24表 自動車排ガス観測所における一酸化炭素濃度測定結果

「環境基準をこえる日数」については24時間平均値 10ppmをこえる日数を示す。

年 月	梅田新道(北区網笠町36)			北粉浜小学校(住吉区粉浜本町1-1)			出来島小学校(西淀川区出来島町479)		
	月平均 (ppm)	月最大値 (ppm)	環境基準をこえる日数	月平均 (ppm)	月最大値 (ppm)	環境基準をこえる日数	月平均 (ppm)	月最大値 (ppm)	環境基準をこえる日数
昭和49年 4月	4.1	15	-	4.6	13	-	2.8	8	-
5	3.6	9	-	4.7	15	-	2.5	15	-
6	3.7	12	-	-	3.0	13	-
7	4.1	14	-	-	4.2	16	-
8	3.4	16	-	-	2.8	8	-
9	3.7	11	-	-	3.1	10	-
10	4.2	12	-	-	3.7	13	-
11	4.2	18	-	6.3	16	1	3.8	13	-
12	4.1	11	-	5.9	17	-	3.9	14	-
昭和50年 1月	3.2	11	-	5.3	15	-	3.6	13	-
2	3.1	14	-	5.2	15	-	3.4	10	-
3	3.1	11	-	4.6	12	-	3.4	9	-

資料 大阪府公害監視センター「昭和49年度大気汚染常時測定点測定結果」

第25表

大阪湾水質環境

本表は昭和49年度調査結果である。測定地点は環境基準測定基準点で、基準点とは、3カ月に1回、年4回測定する地点のことをいう。NDとは定量限界以下をいう。

測定地点	シアン (ppm)	アルキル水銀 (ppm)	有機リン (ppm)	カドミウム (ppm)	鉛 (ppm)	6価クロム (ppm)	総水銀 (ppm)	ヒ素 (ppm)
(1) 通年測定点 (基準点)								
C - 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
C - 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
C - 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
B - 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
B - 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
B - 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A - 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A - 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A - 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A - 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A - 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A - 11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
(2) 一般測定点 (準基準点)								
C - 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
C - 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
C - 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第26表

公害の種類別、苦情受理件数

2以上の種類にわたる苦情については、その主たる種類に計上した。

種類別	昭和46年度		昭和47年度		昭和48年度		昭和49年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
総数	9 885	100.0	8 340	100.0	8 037	100.0	6 868	100.0
典型7公害	9 170	94.7	7 831	93.9	7 384	91.9	6 324	92.1
大気汚染	2 375	24.5	2 036	24.4	2 470	30.7	2 187	31.9
水質汚濁	812	8.4	675	8.1	687	8.6	726	10.6
土壌汚染	4	0.0	11	0.1	14	0.2	16	0.2
騒音	3 178	32.8	2 642	31.7	2 759	34.3	2 248	32.7
振動	838	8.7	613	7.4	624	7.8	554	8.1
地盤沈下	4	0.0	1	0.0	-	-	-	-
悪臭	1 959	20.2	1 853	22.2	830	10.3	593	8.6
その他	515	5.3	509	6.1	653	8.1	544	7.9

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第 27 表 年間地盤沈下量(代表地点)

Table with columns for region (地域), location (所在地), and annual ground subsidence (年間沈下量) in cm for years 1945-1949. It lists various locations in Osaka and surrounding areas.

資料 大阪府土木部都市河川課、大阪府環境保健局

第 28 表 ばいじん・有害物質・ふんじん規制対象工場、事業場届出件数

各年度末現在。工場、事業所数は届出延件数である。ばい煙、ふんじんの届出工場、事業場を含む。

Table showing the number of regulated factories and business sites for dust, harmful substances, and fecal matter in Osaka Prefecture from 1948 to 1949. Columns include location (市町村) and counts for each category.

資料 大阪府生活環境部公害室「大阪府公害白書」

第 29 表 ごみ・し尿の収集と処理量

本表は各年度中に取扱った合計で、本文中の計画収集量とは処理計画量である。

Table detailing the collection and treatment of garbage and sewage in Osaka Prefecture. It includes columns for collection (ごみの収集), treatment (ごみの処理), and sewage (し尿) across various municipalities and years.

資料 大阪府生活環境部環境整備課

第 30 表

法定・指定伝染病患者

本表の数字は医師の届出数を集計した「伝染病統計」によつたものである。患者は眞性のみ、死亡者は人ではない。また、この外にコレラ、痘そう、発しんチフス、ペストが法定伝染病としてあるが各年とも該当

Table with columns for Year (昭和45-49), Month, and various disease categories (Total, Typhoid, Bacillary Dysentery, Amoebic Dysentery, Shigellosis, Typhus, etc.) with sub-columns for Patients, Incidence Rate, and Deaths.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

第 31 表

届出伝染病患者数、罹

前表頭注参照のこと。なお、黄熱、狂犬病、つづが虫病、回帰熱、往血吸虫病は各年とも該当がないので

Table with columns for Year (昭和45-49), Month, and disease categories (Total, Malaria, Measles) with sub-columns for Patients, Incidence Rate, and Deaths.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

数、罹患率および死亡者数

口動態統計から計上しており、疑似も含んでいる。罹患率は人口10万対で表わしているが、各月については算出しがないので省いた。

Table with columns for Disease (Paratyphoid, Typhoid, Shigellosis, Meningitis, Japanese Encephalitis, Acute Poliomyelitis) and sub-columns for Patients, Incidence Rate, and Deaths.

患率および死亡者数

省略した、罹患率は人口10万対である。

Table with columns for Disease (Diphtheria, Influenza, Tetanus, Rabies) and sub-columns for Patients, Incidence Rate, and Deaths.

第 32 表

性病・結核・らい・食中毒患

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである。

Table with columns for Year (昭和), Month, Sex (Total, Male, Female), Disease (Syphilis, Gonorrhea, Venereal Disease, Tuberculosis), and Death Count.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

第 33 表

市 郡 別、年 齢 階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人にかんする

Table with columns for City/County, Age Group (0-4, 5-9, 10-14, 15-19, 20-24, 25-29, 30-34), and Total Population.

資料 大阪府衛生部衛生総務課「衛生年報」

者数、罹患率および死亡者数

る。罹患率は人口10万対である。

Table with columns for Disease (Tuberculosis, Leprosy, Food Poisoning), Incidence Rate, and Death Count.

級 別 死 亡 者 数

もので府外で死亡したものも含まれる。

Table with columns for Age Group (35-39, 40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74, 75-79, 80+) and Death Count.

第 35 表 幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」ただし昭和29・39年度は文部省、49年度は大阪府教育委員会が実施したもの。なお高等学校の15-17歳は全日制、18、19歳は定時制の計数である。

Table with columns for age (年齢), sex (性別), body length (身長), weight (体重), chest circumference (胸囲), and height (座高) for various school levels from kindergarten to high school.

資料 大阪府企画部統計課、大阪府教育委員会保健体育課「学校保健統計調査」

第 36 表 幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表頭注参照のこと。比体重=体重/身長×100 比胸囲=胸囲/身長×100 比座高=座高/身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing ratios of weight, chest circumference, and height for different age groups from kindergarten to high school.

資料 大阪府企画部統計課、大阪府教育委員会保健体育課「学校保健統計調査」

第 37 表 幼児・児童・生徒の疾病異常該当者率

前表頭注参照のこと。受検人員に対する該当者率を%で示す。該当者率は小数点2位を四捨五入してある。

Table showing the percentage of children with various diseases and abnormalities across different school levels, categorized by gender and age.

資料 大阪府教育委員会保健体育課「学校保健統計調査」

